

受理	令和6年2月27日	請願第2号
件名	大阪・関西万博開催の中止を求める請願	
請願者	吹田市古江台1丁目9番13号 葉室 環	
請願の要旨	<p>当初の予算より大幅にコストがオーバーしていること 会場の地盤沈下が確実であること 最近、地震の心配が増しており、もしも来年辺りに南海トラフなどが開催中に来た場合、外国人たちの被害の補償などが大変なことになること 周りの人たちの意見では誰も万博に期待もないこと I Rなど必要ないと世論調査で大多数が思っていること 外国からの日本への観光客は日本にカジノなど必要ないと言っていること 莫大な費用を掛けても失敗、赤字が目に見えていること 中止するためには今からは外国に対して違約金が掛かるようだが、それでもこのまま進める費用のことを考えればまだ安く済むこと 今の時代に万博の意味はないこと</p> <p>その理由として、私が前の万博でコンパニオンを6か月務めた時代と現代の社会情勢が大きく違う。50年ほど前は、まだ日本にたくさん外国人が来ておらず、一般人もさほど海外に行く時代ではなかったため、大阪に居ながらにして外国のことを知り外国人と接することができ、十分意味のあるものだった。しかし、今はインターネットなどで外国のことを知ることもでき、日本にやって来る外国人も増えている今、何に意味を持つのか分からない。</p> <p>元旦に起こった能登の震災で大変なときに、まずあちらに費用を掛けるべき復興に労働力が要るときに、万博に人員を取られることなど言語道断であること</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>過剰に掛かった費用は大阪府民や市民の税金に課するというとも言われています。利権のことばかり考えている者たちがいることが信じられません。</p> <p>市民の暮らし、子供の未来を守るため、どうか大阪・関西万博の開催を中止するという決断を迫るよう、吹田市から関係機関に働き掛けることを請願します。</p>	

紹介議員	久保 直子
付託	文教市民常任委員会